ふじやまだより

第3号
発　行
2003年
3月15日
本郷ふじやま公園
運営委員会

「古民家には桜と富士山が似合います」

･･･　開園いたしました　･･･

本郷ふじやま公園
事務局長　辻　登

響くという字は郷に音と書きます。２月１５日の開園式は、『昇龍』の若者達が打つエネルギッシュで力強い太鼓が響き、保存会のお囃子は情緒ある拍子で心を和ませ、それぞれの音は郷に相応しく公園の門出を祝福してくれました。それに増して心を熱くしたのは、多くの皆様にご来園いただいたことです、本当に有難うございます

本郷中・本郷小・桜井小の生徒の皆さんには、ミレニアム（二千年）のどんぐり苗木の植樹を行っていただきました。折りにふれ、苗木の成長を見に来てやってください、大きく育っていたら拍手をしてやってください。

旧小岩井家の住居は江戸時代後期の古民家として文化財登録されましたが、時代を体感できる空間です。黒船来航の時代にタイムスリップするのにいいかも知れません。

炭焼きや、工作棟での体験教室も計画しております、畑で汗を流すのも良いかもしれません　公園での行事ご案内は5月の広報栄区版から毎月掲載いたしますのでご覧ください。　芽吹く、雑木林や竹林を散策できる園路も出来ております。

このように開園はいたしましたが、公園で大切にしたいことがあります、それはこの里山に住み育つ動物や植物です、彼等への気配りも忘れず心地よく共存したいと願っております。

富士山が遠望でき桜も咲きます、新緑の公園に是非お越し下さい、お待ちいたしております。

古民家の設備・備品などの概要

古民家歴史部会　　木島　健司

長屋門大扉は必要な時だけ開門し、通常は右側の潜り戸から出入していました。主屋土間の竈（かまど）には大釜、大鍋が置かれ大勢の賄いが可能です。板の間の竈には普通の釜が置かれ、水屋と共に台所として使われていたと思われます。水屋の脇には食器や食材を入れる戸棚が造り付けてあります。

いろりには自在鍵があり鉄瓶や鍋を掛け煮炊きができます。ただ、今ある自在鍵は鍋をかける重量に耐えられないのが残念です。竈やいろりの煙は茅を燻し（いぶし）屋根を保護します。この煙は屋根棟の煙出しから排出されます。

当家には土蔵が７棟有りましたが、内蔵として１棟だけ新設されました。上座敷の奥廊下を隔て、別棟に内便所がありますが、使用人は外便所を使っていました。

本郷ふじやま公園の植物について

里山部会　　宗森　英夫

本郷ふじやま公園の樹林エリアは永い間、近隣の人たちが立入らなかったため、かなり多くの野生植物が自生しています。旧いろり塾里山グループが、「横浜自然観察の森」元園長の林辰雄氏の指導のもとに平成９年１０月、平成１０年４月、平成１１年１０月の３回にわたって植物調査を行い１８３種を確認しています。

この時の調査は、主に園路沿いの部分だけであって樹林地帯の内部までは行えませんでした。また、草本類が中心であったため木本類の調査が不充分でした。

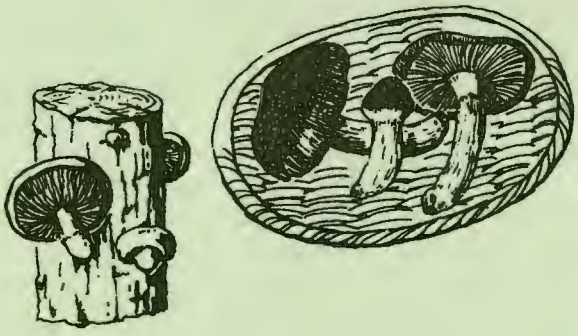
この時の調査とは別に市緑政局が調査した木本類を中心とした報告があり、両方をつき合わせてみると約２５０種位あります。
その後、発見されたものもあり３００種以上の植物があるものと思われます。自然植物に関心をお持ちの方のご参加を望みます。

オオシマザクラ

萌え出づるものにやわらか春の土　青巾

農芸部会　　園部　光代

農芸部会としては、2月に開園記念植樹、新しく加わった仲間と畑・花壇の土づくり、3月にシイタケ栽培の諸作業をおこないます。4月以降は作付け計画に基づいて種まき、苗の植付けと、途切れることなく続きます。



初めての畑の収穫が楽しみです．野菜・花などの栽培の協働作業により、仲間の親睦をはかり、育てる喜び・収穫の喜びを共感し、潤い・憩い・いやしの空間をゆっくり創って地域や来園者に親しんでいただけるよう、力を合わせていきたいと思います。

「もの作り」の楽しさを体験してみよう

工芸部会　寺田　貴美子

開園から2月末まで、古民家ゾーンの工作棟には3月に行う体験教室で制作予定の作品見本を展示しました。三つの工作台の上には各教室（布細工・刺し子・鎌倉彫・七宝焼・粘土工芸・染色・つる工芸等）の特徴が生かされた作品、壁面には木版画とボタニカルアート（細密植物画）を展示しました。

大勢の方々に見ていただき、材料や作り方、申し込み方法等の質問がありました。今後の活動の説明をさせていただきながら、工芸部会への関心の高さを感じました。「もの作り」の楽しさを充分理解していただければ幸いです。

「工作棟」5月教室のご案内

教室名	開催日程	内　　容	持参するもの	材料費
粘土工芸 担当　成田 ℡895－0923	5月16日(金) 5月30日(金) 13:00～15:30	石塑粘土で作るかわいらしい桃太郎人形	ハサミ(紙切り用) ラジオペンチ、木工用ボンド，手拭用タオル	1，500円
布細工 担当　相澤 ℡894－9640	5月14日(水) 13:00～16:00	絽の古布で作る和風ブローチ	なし	500円
遊　布 担当　萬矢 ℡893－9334	5月28日(水) 13:00～16:00	りんごっ子たちのタペストリー	なし	1，000円

申し込み：往復ハガキに教室名、住所、氏名、(復にも住所，氏名)、電話を記入し下記にお申し込み下さい。

〒247－0009　　栄区鍛冶ケ谷1－20　本郷ふじやま公園運営委員会

締め切り：4月30日（金）必着

募集人員：各教室12名（応募者多数の場合抽選）

参加費用：材料費のみ実費負担

開園日に囲炉裏焚きを楽しむ

いろり班　小島　正二

私自身、懐かしい子どもの頃を思い出しながら、いろりを焚き楽しみました。そして、集まった大勢の方々が囲炉裏に強い愛着を持っておられるのを実感しました。

「懐かしい！」「実家にも囲炉裏があったわ」「家のはこんなふうになっていた」と違いを説明してくださる人。子どもを回りに座らせ写真を撮り、囲炉裏の生活をいろいろと説明するお母さん。「生まれは東京だけど、戦時中に疎開した先での生活を思い出すわ」といってなかなか離れない人。囲炉裏での団欒が強い家族の絆を生んでいたと話合う高齢者たち。「いろり焚きは毎日ですか、私もボランティアで参加します」と申し出て下さる人。家族や親子の断絶も、囲炉裏のような団欒の場所があれば無くなるであろうにと思う一日でした。

編　集　後　記

今月号は「本郷ふじやま公園古民家ゾーン」オープニングの特集を折込で載せております。2月15日（土）は好天に恵まれ、朝10時の開園時にはたくさんの方々が待っておられ、大変な賑わいでした。

オープニングの準備に古民家の飾りつけ、くす玉作り、竹炭作りから袋詰，記念植樹のための苗作り、ふじやま鍋の調理と多くの人の参加がありました。

植樹祭に参加した小・中学生の皆さん、和太鼓の「昇龍」の若者たち、お囃子保存会の方々、ご参加ありがとうございました。栄区長はじめ、来賓の方々、ご出席ありがとうございました。紙上よりお礼申し上げます。　　広報部会　小澤

開館時間：午前9時～午後5時
休館日：毎月第1水曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
入館料：無料

○本郷ふじやま公園運営委員会　〒247－0009　鍛冶ケ谷1－20
電話896－0590　FAX896－0593
○緑政局中部公園緑地事務所　電話711－7802　FAX712－6260